

平成30年9月25日

西部農林振興センター県央事務所農業普及部

標 題	邑智郡の産直市を代表する特産品はこれだ！ ～「おおち産直市」特産品総選挙2018の開催と開票結果～
------------	--

(ダイジェスト)

邑智郡内の拠点産直市5店舗の人気商品を投票する「おおち産直市」特産品総選挙2018が開催されました。投票の結果、各産直市を代表する逸品が選び出され、投票者からも味の評価のみならず、病気予防や健康増進、環境に配慮した農産物の生産に対する熱いメッセージが寄せられました。

邑智郡内では、拠点となる産直市が5店舗あり、各地域の農林産物の特徴を活かした様々な特産品づくりが行われ、出荷者の所得向上に大きく貢献しています。一方近年は、人口減少や三江線廃線による交流人口の減少などにより、その販売額は、減少傾向にあり、販売額をアップさせるためには、消費者に喜ばれ、手に取ってもらえる特産品づくりとより一層の集客力の向上が求められています。

今回は、昨年を引き続き2回目の取り組みとして、より多くの消費者に産直市を訪れる機会を創出するとともに各地域の特産品のPR、消費拡大につなげるため、産直市の人気商品を投票する「おおち産直市」特産品総選挙2018を夏休みやお盆で交流人口が増える8月1日から31日の1か月間、開催しました。

投票の結果、各産直市では下記の特産品がナンバー1に選ばれました。

道の駅インフォメーションセンターかわもと 産直市（川本町）「えごませんべい」
 みさと市（美郷町）「水ようかん」

道の駅グリーンロード大和 まほろば産直市（美郷町）「高糖度トマト美郷プレミアム」
 ふれあい市場 雲井の里（邑南町）「田舎寿司」

道の駅瑞穂 産直市みずほ（邑南町）「有機ブルーベリージャム」

投票理由としては、味の評価やなつかしさなどに加え、病気予防や健康増進、環境に配慮した原材料の生産などが多数あり、他にも産直市に対する提案などの意見もいただきました。

投票の6割以上は女性、年齢別では60歳以上が5割ほどを占めていました。また、投票者の居住地としては、道の駅併設タイプの産直市では、4割ほどが県外者、郡外者を含めると7割前後で、日常使いの産直市店舗では、7割前後が地元郡内の消費者という結果となりました。

普及部では、投票結果に関する情報も参考にしながら、特産品開発や産直市運営の支援を引き続き実施することとしています。



総選挙会場の様子